



中小企業・小規模事業者のよろず相談所



久住 武司 徳島県よろず支援拠点チーフコーディネーター

中小企業のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

1. はじめに

令和4年度は、新型コロナに円安や原油高、原材料不足などの影響が加わり、これまでの人手不足や資金繰りなどの経営課題がさらに深刻な状況になっています。その一方で、厳しい状況下においても、売上拡大や創業の相談は増えつつあります。

徳島県よろず支援拠点では、このように多様で深刻なご相談にしっかりと対応させて頂くため、所属する15名のコーディネーターが関係支援機関と連携しながら、懸命に様々な支援と取り組みを行いました。その概要についてご説明いたします。

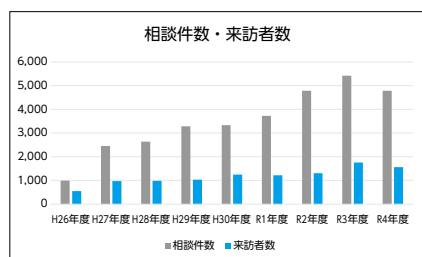
2. 徳島県よろず支援拠点の活動状況について

1) 相談対応件数・来訪者数について

令和2年に初めての新型コロナウイルス感染症に関する経営相談を頂いてから3年を経過しました。これまでの3年間、関係支援機関のご協力を頂きながら、全力で経営相談を続けてまいりましたところ、相談者の皆様からは高い満足度を頂いております。

令和4年度は国等のコロナ関連の各種支援制度のピークも過ぎつつあることから、相談件数・来訪者数ともにやや減少しております。(図-1)

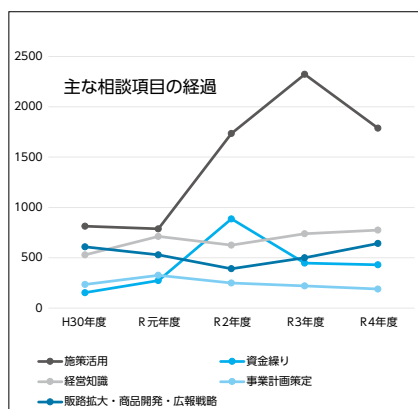
図-1 相談件数・来訪者数(R4年度は推計値)



主な相談内容(図-2)については、施策活用が一番多いものの、令和4年度は大きく減少しております。次いで経営知識、販路拡大・商品開発・広報戦略、資金繰りの順になっておりますが、特に販路拡大関連の相談の件数が資金繰りに関する相談件数を上回りました。これは、厳しい状況下においても、積極的な事業展開に取り組む経営者の皆様が増えてきたものと考えております。その一方で、

資金繰り相談の内容は、より深刻化しており、ゼロゼロ融資の本格的な返済が始まる令和5年度は、これまで以上に、さらに厳しい相談が増えることが予想されます。

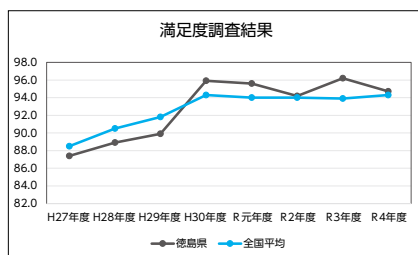
(図-2)



※令和4年度は推計値

2) 満足度調査結果

毎年、よろず全国本部が実施する調査では、常に高い満足度を頂いております。



3) 徳島県よろず支援拠点の相談体制強化について

これらの状況に対応するため、徳島県よろず支援拠点では相談体制を強化し、相談対応を実施しております。

① サテライト相談の増設・出張相談所の開設

金融機関・経済団体などの関係支援機関、及び市町村のご協力の下、県内各地で出張相談所を開設しております。(開設した主な場所)

県西部県民局(毎月1回)、県南部県民局(毎月2回)、日本政策公庫徳島支店(毎月2回)、徳島駅前商店街ポッポ街(隔週日曜日)、徳島市(隔週土曜日:産業支援交流センター・アミコビル9F)、

鳴門市(不定期:うずしお会館)、阿南市(毎月各1回:市庁舎内、阿南商工会議所、羽ノ浦町商工会、那賀川町商工会)、小松島市(毎週木曜日:小松島商工会議所)、吉野川市(毎月1回:吉野川商工会議所)、美馬市(毎月各1回:美馬市、美馬市商工会)、三好市(毎月2回:阿波池田商工会議所)、松茂町(不定期:松茂町商工会)、海陽町(毎月1回:海陽町商工会)

4) 各種制度の周知と活用支援について

① 事業承継セミナー相談会の開催

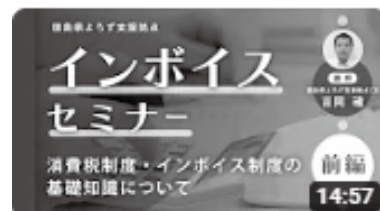
今年度は特に、事業承継が特に急務な業界に向けて、徳島弁護士会、徳島県事業承継・引継ぎ支援センター、日本政策金融公庫徳島支店、徳島県社会保険労務士会等の支援機関と連携して、個別にセミナー相談会を実施しました。



② インボイス制度導入に向けた対応について

インボイス制度のセミナー相談会を、徳島商工会議所連合会や徳島県中小企業家同友会、関係業界団体の事務局と連携して実施しました。

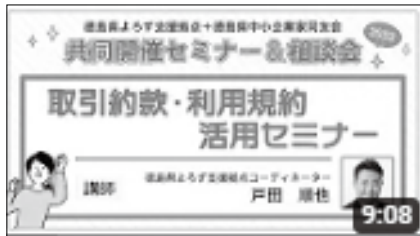
また、当拠点の税理士コーディネーターが当拠点ホームページのYouTube動画で分かりやすく説明しております。



③ 各種補助金セミナーの開催

国の補助金制度「事業再構築補助金」、「小規模事業者持続化補助金」、徳島県の「物価高騰対策応援金」、改正民法に対応した「取引約款・利用規約活用」などについて、当拠





点のコーディネーターが分かりやすくセミナー相談会や YouTube 動画で説明しております。

5) 支援機関と連携した取り組み

① 徳島ビジネスチャレンジメッセで「出張相談会」

徳島ニュービジネス協議会が主催して毎年実施している展示商談会に「徳島県よろず支援拠点ブース」を出展し、相談対応の実施と支援活動の PR を行いました。



② 関係支援機関と連携した「事業承継セミナー」や「自社商品の求評会」の開催

(公財)とくしま産業振興機構が開催する「とくしま経営塾・平成成長久館セミナー」では、徳島弁護士会や事業承継・引継ぎ支援センター等と連携した事業承継セミナーを開催しました。また、全国展開するカタログ通販会社などのバイヤーに紹介する「求評会」の開催を提案し、開催時には、出品者が行う商品説明の支援を行いました。カタログ掲載に向



けたバイヤーへの売り込み方法、説明のポイントや見せ方、品評の仕方等をバイヤー目線でアドバイスを行いました。

③ 情報提供ツールの充実について

・徳島県よろず支援のホームページで最新情報を提供しております。



徳島県よろず支援拠点
ホームページ

・SNS による情報発信をしております。
YouTube では各コーディネーターが情報提供しています。



Facebook



LINE



Twitter



YouTube

6) 具体的な支援事例

① 事業再構築補助金の活用

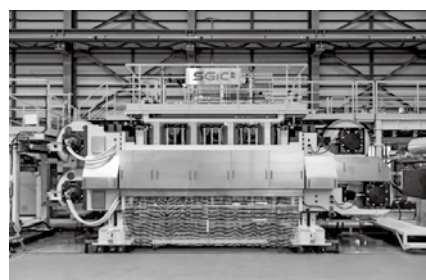
(株)エスジック 阿南市才見町

特殊精密プレス機の開発着手 ～グリーン成長枠(上限1億円)の活用支援～

2003 年森田技研工業(株)として創業した(株)エスジックは、世界最高水準の連続式の液圧式ダブルベルトプレス装置の製造・販売を行っており、2011 年にはサポイン事業に採択され、当該装置を開発しています。

液圧式ダブルベルトプレス装置を製造できるのは国内では当社のみであり、用途は CFRP や燃料電池部品製造など様々な分野に適用可能です。CFRP は製造過程で多くの廃材と CO₂ が排出される課題もあることから、当社は新たに廃材を原料とした CFRP シートの製造販売事業を行い、廃材の有効活用とバーゲン炭素繊維の製造時に発生する CO₂ の削減に寄与する計画を立てました。

新事業には専用の液圧式ダブルベルトプレス装置の開発が必要ですが、その設備製作費および試験開発費は高額であり、事業再構築補助金を最大限活用する必要があるため、「通常枠(上限2千万円)」ではなく、難度の高い「グリーン成長枠(上限1億円)」の活用アドバイスを行う



液圧式ダブルベルトプレス装置

こととして申請計画書の作成支援を丁寧に行い、無事に採択されました。

② 特別支援チームによる「成長志向企業伴走支援」

(株)ネオビエント/株鹿祿

さらなる成長を志向する企業経営者と一体となって支援を行う「成長志向企業伴走支援」を実施しました。「販売全力支援チーム」が取り組んだ事例を YouTube 動画(14 分)にまとめておりますのでご覧ください。



3. まとめ

まもなくゼロゼロ融資の元本償還が本格化します。徳島県よろず支援拠点はさらに体制を強化し、「事業承継」、「働き方改革」、「人手不足対応」や、「GX、DX」など、ポストコロナに向けた様々な経営課題にしっかりと取り組んで参ります。また、「大阪・関西万博 2025」に向けては、その前年度である 2024 年度までには企業戦略を整える必要があります。今後とも関係する皆様のご協力を得ながら、しっかりと経営支援に取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8

徳島経済産業会館2階

よろずにゴー

電話088-676-4625

HP <https://yorozu-tokushima.go.jp/>

受付時間

【平日】9:00～17:45

【休日相談会】

●第2・第4日曜日

10:00～17:00

徳島駅前ポッポ街

●第1・第3土曜日

10:15～17:00

アミコビル 9F



(最新情報を確認して下さい)

新型コロナウイルスに関する
経営相談窓口を設置しております。
相談希望の方は上記、徳島県
よろず支援拠点にご連絡ください。